

フィンランド

フィンランドの冬は太陽が1分も姿を見を出さない**極夜**があります。

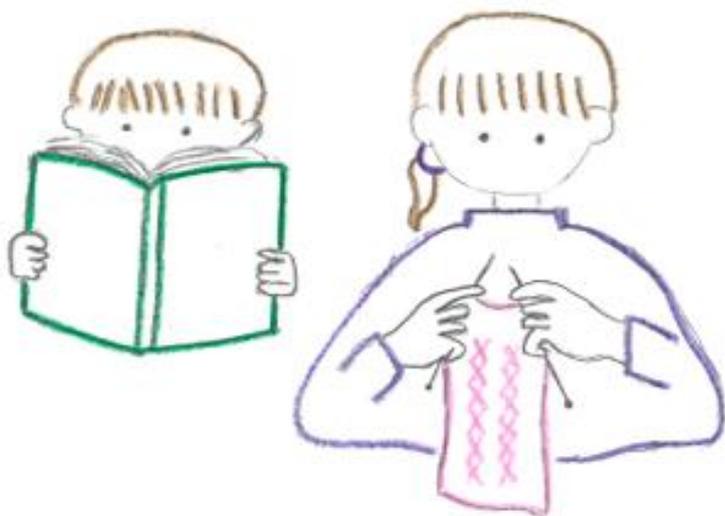
フィンランドの冬の過ごし方を紹介します!!

1. キャンドル

フィンランドの国民一人あたりのキャンドル消費量は世界一。揺れ動くキャンドルの炎は私たちの心を癒してくれます。



2. 趣味を楽しむ



フィンランドでは読書が人気。また、編み物の人気が高く小学校では編み物の授業があるほどです。

(ティーンズスタッフ：ぴーよん)

参考文献：フィンランドが教えてくれた100の大切なこと
パイインターナショナル

～中高生むけ図書館だより～

OWL NEWS

Vol.
38



2026. 冬号 (2026. 1月 発行)

(ティーンズスタッフ:ぽんた)

わたしたちのおすすめ本



『 ナースの卯月に見えるもの 』
秋谷りんこ/著 (文藝春秋/文春文庫)



完治の望めない人々が集まる長期療養型病棟で、看護師の卯月は働いている。彼女はある時から、患者たちが胸に抱える「思い残し」が見えるようになった。「思い残し」とは、その名の通り、人が残してしまう心の未練や願いのこと。完治の見込めない患者たちだからこそ、卯月はその「思い残し」を少しでも解きほぐしたいと奔走する。看護師としての日々のケアに向かい合いながら、患者たちの「思い残し」にも寄り添う卯月。「思い残し」の奥にある優しさに心が揺れる物語。

(ティーンズスタッフ：かばやき)



『 一瞬の風になれ 』
佐藤多佳子/著 (講談社)

「新二も走る？」
幼馴染みの連に何気なく聞かれた一言。

「おう」
新二は高校から陸上部に入った。
基礎練習から部活が始まって、自分がやるのはなかなか難しいけど、連はひよひよいと軽くやってしまう。周りからの期待が高い連だけど、練習ではダラダラしたり、リレーを走ることになった大会を旅行に行って来なかったりする。でもやっぱり連は誰もが見とれるきれいなフォームで走る。

あんなふうになりたい、連は新二の憧れだ。
新二の一生懸命な姿に心が動かされる物語です。

(ティーンズスタッフ：深緑)





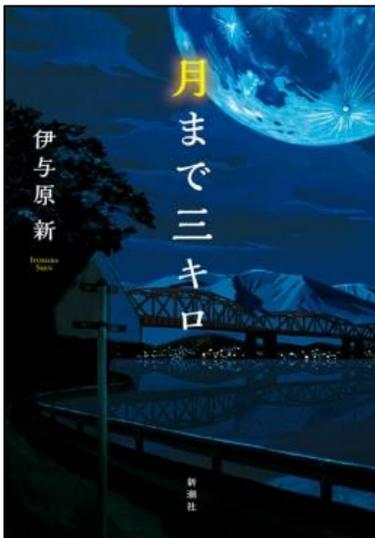
『 容疑者Xの献身 』

東野圭吾/著 (文藝春秋/文春文庫)

アパートの一室で一人娘と暮らす花岡靖子。彼女たちのもとに居場所を突き止めた元夫がやってきてしまう。揉み合いの末、彼女たちは元夫を殺害してしまった。靖子に密かに想いを寄せていた隣人の数学教師・石神はそのことを知ると、彼女たちのために完全犯罪を立案する。

物理学者であり、石神の大学時代の友人である湯川がこの事件に挑んでいく。倒叙ミステリといえはこの一冊。倒叙ミステリって何...? 気になる人はぜひ読んでみてください。

(ティーンズスタッフ：ししゃも)



『 月まで三キロ 』

伊与原新/著 (新潮社) 新潮社刊

「月まで三キロ」は、第172回直木賞を受賞した伊与原新さんの作品です。登場するのは、多くの人が抱えるような悩みを持つ、ごく普通の人たち。彼らの日常には、科学的な考え方や現象がそっと寄り添うように潜んでいます。この本は科学をテーマとした短篇集で、日常にひそむ不安や孤独、そして希望が丁寧に描かれています。この本を読んで、いつも見ている日常の中に隠れている“小さな気づき”を探してみませんか?

(ティーンズスタッフ：トロンボーン)

